

公益財団法人京都高度技術研究所

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 西本清一

2 所在地

京都市下京区中堂寺南町 134 番地

3 電話番号

075-315-3625

4 ホームページアドレス

<https://www.astem.or.jp/>

5 設立年月日

昭和 63 年 8 月 9 日

6 基本財産

300,000 千円（うち本市出えん額 100,000 千円，出えん率 33.3%）

7 事業目的

科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて，地域産業の発展と市民生活の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 科学技術の諸分野に関する研究，開発及び調査並びに研究者の養成及び技術者の研修
- (2) 科学技術諸分野に関する研究開発型企業に対する支援及び情報の提供
- (3) 科学技術の諸分野に関する研究者及び技術者の交流
- (4) 産学公連携による新事業の創出と研究開発の推進
- (5) 科学技術の進歩発展や産業の発展に寄与する人材の育成
- (6) 中小企業者を対象とする振興施策の調査研究及び実施
- (7) 中小企業者等を対象とする，金融，経営，法務，技術等に関する相談，助言及び人材育成その他の支援並びに情報の提供
- (8) 中小企業の経営者及び従業員を対象とする異業種交流の促進並びにその成果の普及
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

産業観光局産業イノベーション推進室（TEL075-222-3324）

10 役員名等

(1) 理事長

西本清一

(2) 副理事長

阿草清滋，北村信幸（産業・文化融合戦略監 産業観光局長兼職）

(3) 専務理事

森永真世（産業観光局理事）

(4) 理事

荒木勇，岡本圭司，小川信也，酒井伸一，阪口雄次，辻理，時任宣博，仲尾功一，中本晃，野々内達雄，堀場厚，増田新，山下直毅

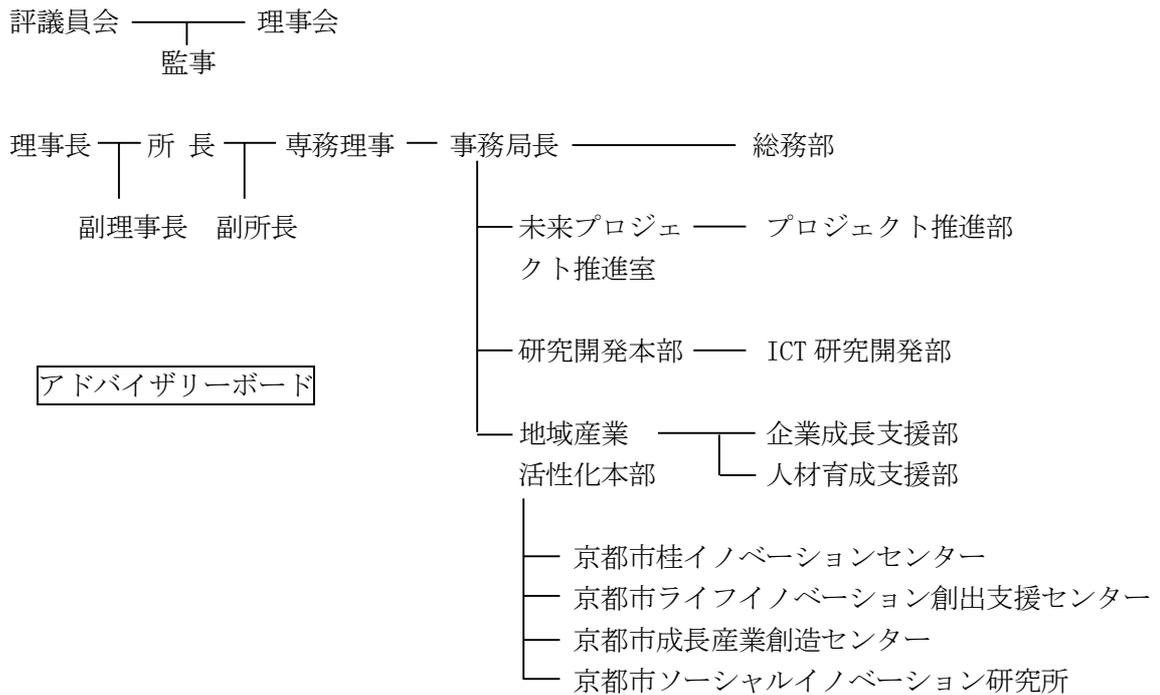
(5) 監事

植村幸弘，近藤一郎，中村健児

11 常勤役職員数

75 人（うち本市派遣職員 8 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 令和2年度決算

(1) 事業報告

ア 公益事業①

研究開発事業を通じて、京都地域の科学技術の振興を目的とする事業

(ア) 先端的研究開発事業

- a ヘルスケア分野における健康データ利活用技術に関する研究開発事業
- b AI（人工知能）技術の研究開発事業
- c IoT デバイスの高度化に関する研究開発事業
- d 次世代ロボティック・移動搭載 IoT 技術の研究開発事業

(イ) 研究成果の応用・普及事業

- a 観光・交通関連のビッグデータの応用研究事業
- b IoT（モノのインターネット）技術の環境計測への応用事業
- c AR/VR 技術の応用研究事業
- d 中小企業への AI 導入支援事業

(ウ) 環境分野における研究開発事業

PHA 系バイオプラスチックのライフサイクル実証事業

イ 公益事業②

中小企業の新事業創出、経営革新等の支援事業を通じて、京都地域の産業振興を目的とする事業

(ア) 新事業の創出を目指した支援事業

- a 地域プラットフォーム事業
- b 未来創造型企業支援プロジェクト事業
- c 新事業創出のための競争的資金獲得支援事業
- d インキュベーション支援事業
- e 起業家・専門家・中核人材育成事業
- f 京都スタートアップ・エコシステム推進
- g 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業

- h 京都大学イノベーションプラザを拠点とした新産業創出支援事業
- i 協創型課題解決事業
- j 京都スマートエコノミー推進事業
- k KYOTO STEAM -世界文化交流祭- 連携事業
- l スタートアップによる新型コロナ課題解決事業
- (イ) ライフサイエンス分野における産学公連携事業
 - 京都市ライフイノベーション創出支援センターにおける産学公連携支援事業
- (ウ) 環境・エネルギー分野における産学公連携事業
 - PHA系バイオプラスチックのライフサイクル実証事業
- (エ) 経営支援事業
 - a 中小企業パワーアッププロジェクト事業
 - b 中小企業外国出願支援事業
 - c 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業創出支援事業
 - d 京都市中小企業海外展開支援事業
 - e ICTを活用した地域産業の振興事業
 - f 京都市ベンチャー型事業承継支援事業
 - g 中小企業等IT利活用支援事業
- (オ) 金融支援事業
 - 直接貸付に係る債権回収事業
- ウ 公益事業③
 - 産学公連携により、京都地域の産業競争力の強化と新事業の創出を図ることを目的とする事業
 - (ア) 産学公連携による技術の橋渡し支援事業
 - 技術の橋渡し拠点運営事業
- エ その他事業（情報関連等事業）
 - (ア) 地域・自治体へのICT（情報通信技術）の展開事業
 - a 自治体のICT利活用の効率化推進事業
 - b 京都市、外郭団体の情報通信システム運用事業
 - c アプリケーションソフト開発実証・開発指導事業
 - d 地域情報基盤の運営事業
 - e AzCalc（保護者負担経費会計システム）のクラウド事業
 - f スマートフォンソフトウェア開発技術の活用事業
 - (イ) 研究成果の応用・普及事業
 - a コンピュータシステム教育用教材の普及事業
 - b 産業用ネットワークの国際標準規格（EtherCAT）製品の認証事業
 - c データプラットフォーム事業
 - (ウ) バイオマス利用促進事業
 - バイオマス利用研究会
 - (エ) 賃貸事業

(2) 財務諸表

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	461,622	353,826	107,796
受取手形	0	3,267	△3,267
未収金	721,040	1,005,671	△284,630
貸付金	37,211	37,241	△30
貸倒引当金	△60,348	△60,311	△37
前払金	588	2,608	△2,021
前払費用	649	1,113	△463
貯蔵品	1,144	0	1,144
預け金	13	13	1
供託金	189	289	△100
流動資産合計	[1,162,109]	[1,343,717]	[△181,608]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産引当定期預金	270,000	270,000	0
基本財産引当出資金	30,000	30,000	0
基本財産合計	(300,000)	(300,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	34,217	40,719	△6,502
受入保証金引当資産	23,141	23,306	△165
建物	995,214	1,018,585	△23,371
建物附属設備	353,543	406,335	△52,792
構築物	28,656	30,879	△2,223
水道施設利用権	190	215	△25
什器備品	3,725	2,620	1,104
京都市成長産業創造センター建物設備改修積立金	61,000	51,000	10,000
研究活動資金積立金	30,000	30,000	0
特定資産合計	(1,529,685)	(1,603,659)	(△73,974)
(その他固定資産)			
建物附属設備	3,437	4,458	△1,021
什器備品	12,578	27,522	△14,944
ソフトウェア著作権	5,760	8,758	△2,998
電話加入権	5,612	5,612	0
敷金	1,140	2,140	△1,000
出資金	120	120	0
長期前払費用	649	1,299	△649
その他固定資産合計	(29,297)	(49,909)	(△20,613)
固定資産合計	[1,858,982]	[1,953,568]	[△94,586]
資産合計	3,021,090	3,297,285	△276,194

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
II. 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	960,000	990,000	△30,000
未払金	196,759	211,391	△14,633
前受金	27,972	26,478	1,495
預り金	4,125	5,191	△1,066
賞与引当金	9,642	17,582	△7,940
流動負債合計	[1,198,498]	[1,250,642]	[△52,144]
2. 固定負債			
未払金	36,980	44,215	△7,235
受入保証金	23,141	23,306	△165
固定負債合計	[60,120]	[67,520]	[△7,400]
負債合計	1,258,618	1,318,163	△59,544
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	812,919	855,310	△42,391
地方公共団体補助金	563,612	597,744	△34,132
寄付金	265,393	265,906	△513
指定正味財産合計	[1,641,924]	[1,718,960]	[△77,036]
(うち基本財産への充当額)	(260,000)	(260,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,381,328)	(1,458,634)	(△77,307)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[120,548]	[260,162]	[△139,614]
(うち基本財産への充当額)	(40,000)	(40,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(91,000)	(81,000)	(10,000)
正味財産合計	1,762,472	1,979,122	△216,650
負債及び正味財産合計	3,021,090	3,297,285	△276,194

正味財産増減計算書
令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,231	1,250	△19
特定資産運用益	2	3	△1
受取会費	6,600	6,480	120
事業収益	1,002,238	1,630,130	△627,892
受取補助金等	1,182,303	658,063	524,240
受取負担金	17,000	27,000	△10,000
雑収益	1,731	1,506	225
経常収益計	2,211,106	2,324,432	△113,326
(2) 経常費用			
事業費	2,323,181	2,233,073	90,108
管理費	20,594	26,708	△6,114
経常費用計	2,343,774	2,259,781	83,994
当期経常増減額	△132,669	64,651	△197,320
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	230	535	△305
前期損益修正益	21	2,557	△2,536
経常外収益計	251	3,092	△2,841
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	6,992	0	6,992
前期損益修正損	21	2,956	△2,935
雑損失	113	154	△41
経常外費用計	7,126	3,110	4,016
当期経常外増減額	△6,875	△18	△6,857
税引前当期一般正味財産増減額	△139,544	64,633	△204,177
法人税、住民税及び事業税	70	374	△304
当期一般正味財産増減額	△139,614	64,259	△203,873
一般正味財産期首残高	260,162	195,903	64,259
一般正味財産期末残高	120,548	260,162	△139,614
II. 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	4,790	5,537	△747
一般正味財産への振替額	△81,826	△85,082	3,256
当期指定正味財産増減額	△77,036	△79,545	2,509
指定正味財産期首残高	1,718,960	1,798,506	△79,545
指定正味財産期末残高	1,641,924	1,718,960	△77,036
III. 正味財産期末残高	1,762,472	1,979,122	△216,650

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
正味財産増減計算書	経常収益	1,748,697	2,324,432	2,211,106
	当期経常増減額	112,484	64,651	△132,669
	当期正味財産増減額	21,640	△15,286	△216,650
貸借対照表	総資産	3,231,758	3,297,285	3,021,090
	総負債	1,237,350	1,318,163	1,258,618
	正味財産	1,994,408	1,979,122	1,762,472

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
委託料	IT ガバナンスの強化に係る調査・分析・提案業務	181,611	202,259	150,611
	観光文化情報システムの運用開発	30,809	1,499	1,499
	学校預り金システムの開発		2,112	2,112
	京都市動物園情報通信システム運用	514	524	1,382
	その他開発等事業 (区役所 HP 管理等)	35,743	37,499	34,674
	京都企業データベースシステム	1,490	1,518	1,518
	京都市中央卸売市場第一市場施設管理システム		25,462	3,799
	動物園動物のビデオ映像録画・解析システムの開発		462	952
	新基幹業務システム稼働環境保守等業務			5,395
	ライフイノベーション創出支援事業	24,120	28,800	26,500
	京大桂ベンチャープラザ及び クリエイション・コア京都御車 インキュベーション支援	22,512	22,200	22,000
	京都大学イノベーションプラザを拠点とした地 域科学技術振興事業	18,290	17,883	16,383
	スマートシティ京都研究会事務局運営委託	1,400		
	京都市中小企業海外展開支援事業	4,900	4,600	4,200
	京都市グリーン産業振興ビジョン推進事業	7,553		

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
委託料	京都市ライフイノベーション戦略推進事業	5,619		
	京都大学国際科学イノベーション拠点における産学公連携支援拠点事業	9,795	9,800	9,500
	大型汎用コンピュータのオープン化に係るシステム設計・開発等業務	340,447	657,078	84,058
	ライフサイエンスベンチャー創出支援事業	10,500	10,000	9,300
	「素材から学ぶくらしの学校」事業	1,500		
	中京区民まちづくり支援事業	38		
	京都市商店街空き店舗解消促進事業	20		
	次世代医療 ICT 新事業創出推進事業	10,000	10,100	8,000
	京都市移住サポートセンターの運営事業	120		
	京都市スマートエコノミー推進事業		9,000	8,700
	京都・ボストン姉妹都市 60 周年を契機とした経済交流促進事業		1,000	
	「未来の西京まち結び～みらまち結び～」事業に係る企画・運営等業務		1,800	
	「買い物の先に広がる世界、探求舎」事業企画及び開催業務		1,235	
補助金	京都高度技術研究所助成	136,850	135,291	134,523
	ベンチャー・中小企業ネットワーク支援事業(地域プラットフォーム事業)	12,246	12,000	10,800
	未来創造型企業支援プロジェクト	15,456	15,700	14,700
	京都市成長産業創造センター運営事業	50,000	47,500	45,000
	中小企業パワーアッププロジェクト補助	23,415	23,400	23,000
	京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業	20,000	20,000	20,000
	京都市未来創生企業成長プロジェクト	11,450		
	健康長寿産業創出支援事業	5,280		
	京都型グローバル・ニッチ・トップ企業創出支援事業	13,260	12,300	8,300
	京の働き方改革総実践プロジェクト	7,500		
	ベンチャー型事業承継支援事業		3,000	160
	革新的パワーエレクトロニクス実装・事業化推進事業		2,597	3,000
	スタートアップエコシステム推進事業			1,300
	スタートアップビザを活用した外国人企業活動促進事業			1,000
	スタートアップによる社会課題解決事業			120,070
	中小企業等 IT 利活用支援事業			416,601

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<p>国等からの外部資金の獲得に努めるとともに、収益事業として実施している情報システム関連業務の受託などにも努めた結果、平成30年度の当期経常増減額は112,000千円のプラスとなり、令和元年度においても、当期経常増減額は64,000千円のプラスとなったが、令和2年度は収益事業が見込めなくなったことなどにより、当期一般正味財産増減額が約140,000千円のマイナスとなった。</p> <p>なお、当期指定正味財産増減額のマイナスについては、京都市成長産業創造センターの減価償却によるものである。</p>
事業面	<p>産学公連携による研究開発プロジェクトの推進や、中核的支援機関として新事業創出に向けた各種支援策を実施し、本市の産業振興施策の推進に大きく貢献している。令和2年度においては、AI、IoTを活用した研究開発、経営支援事業に積極的に取り組み、地域企業の新事業創出等の支援に取り組んだ。</p> <p>また、京都市産業技術研究所との連携を図り、効果的な支援につなげている。</p>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

<p>収益事業の受注が見込めなくなったことなどにより、経常損益が赤字となった。</p> <p>京都市から多額の運営補助金や職員派遣（実質的に補助金と同等の効果）の受入を行ったうえで赤字については、重く受け止める必要がある。</p> <p>また、中小企業等IT利活用支援事業など、地域企業の研究開発支援・経営支援等を積極的に実施しているが、どのような事業効果を挙げているのか、これまで以上に市民に分かりやすく発信していただきたい。</p> <p>京都市では、行財政改革計画に基づき、補助金の見直しや職員削減など厳しい歳出改革を進める予定となっていることを踏まえ、当団体においても、市の財政的・人的関与がなくても（縮小されたとしても）、科学技術の振興や企業経営に関する支援に対する社会的ニーズに自ら対応できるよう、経費の節減や国費の獲得をはじめとする自主財源の強化により、団体の自主性・自律性を更に高めていただきたい。</p>
